

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 1 8 号	平成 2 3 年 1 0 月 1 1 日 受 理
件 名	国民への負担増を新たに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善を求める陳情
陳 情 者	秦野市鶴巻南 5 - 2 - 1 4 ㊦ 全日本年金者組合秦野支部 ㊦ 支部長 内山 雄幸 ㊦
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>政府は、6月30日、社会保障と税の一体改革成案を発表しました。この成案は、社会保障安定財源について、消費税を主たる財源にするとし、消費税を社会保障目的税とすることをうたい、2010年代半ばまでに段階的に消費税を10%まで引き上げるとしています。このことは、際限のない消費税増税を意図したものにほかなりません。</p> <p>また、成案は年金財政持続可能の確保のためとして、年金の支給開始年齢の引き上げと、デフレ経済下でのマクロ経済スライドを打ち出しました。これでは、高齢者の貧困化を一層促進し、地域経済を疲弊させることにつながります。</p> <p>年金財政維持は、際限のない年金切り下げではなく、賃金を引き上げる経済運営を図るべきです。</p> <p>つきましては、本陳情の趣旨をご理解の上、次の事項について地方自治法第99条に基づき、国に対して意見書を提出していただきたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 国民にさらなる負担増を求める社会保障・税一体改革成案を撤回すること。 また、国民が安心して暮らせるよう、憲法第25条に基づく社会保障の充実を図ること。</p>	